

海南高等学校美里分校 マンスリータイムズ

分校の窓から

06
2022

支援委員会について

美里分校は、スクール・ポリシーの中で「安心して学校生活を送れるよう、全職員が協力して教育相談体制を充実させるとともに、専門家や外部機関等とも連携しながら、一人一人の課題に応じた支援を行います」という方針を掲げています。

これを実現するため、美里分校は『支援委員会』を置いて、一人ひとりに応じたきめ細かい支援の充実と、それを支える組織体制の整備に取り組んでいます。

今年は、平年より3週間も早く梅雨明けし、過去最も期間が短い梅雨となりました。今後は気温が上昇し、厳しい暑さが続くでしょう。

毎年この時期になると、不調を訴える生徒が目立つようになります。気候の変化に身体がついていかなかったり、新年度に入ってからの疲れが出たりして、調子を崩す生徒は珍しくありません。学校生活での学習や進路、人間関係等に悩む生徒もいて、心身のバランスが崩れやすいのもこの時期です。

また、美里分校には様々な学習歴を持ち、不登校経験や学力、人とのコミュニケーションに不安を持つ生徒も在籍しています。こうした生徒に対し、美里分校はこれまで一人ひとりの課題に応じたきめ細かい支援を行ってきました。

もともと生徒数が少ない上、各教科担当は毎年全生徒と関わるため、一人ひとりに目を配ることができます。職員室では、教員同士が生徒の授業での様子を報告し合うなど、日常的に情報共有が行われているので、生徒の小さな変化にも気づきます。

こうした小規模校の良さに加え、昨年度から校内に『支援委員会』を置いて、組織的に生徒・保護者の支援にあたれるよう、教育相談体制の充実に努めています。

支援委員会は、特別支援教育コーディネーターを務める委員長を中心に、管理職、養護教諭等で構成され、スクールカウンセラー（以下、SC）やスクールソーシャルワーカー（以下、SSW）とも連携します。

生徒・保護者をSC等につなぐだけでなく、定期的に情報交換会を開催し、SC、SSWを含む全教職員で生徒情報の共有を図っています。また、生徒の情報を記録するパーソナルシートの作成や個別の教育支援計画の管理、医療や福祉等関係機関との連絡調整、いじめ防止対策委員会での中核的役割等、美里分校の組織的な支援教育を推進する役割を担っています。

生徒が持てる能力や個性を最大限に伸ばし、健全な社会人として成長するためには、安心して学べる学習環境を保障することが大切です。しかし、教育課題が多様化・複雑化する現在、これらを学校だけで実現するのは困難になりつつあります。

悩みや課題を抱える生徒を支えるため、美里分校は支援委員会を中心に、組織体制を整備するとともに、組織内の連携が円滑に行われるよう、職員の『チーム美里分校』としての意識を高めていきたいと考えています。



6.10 現地集合学習

6月10日（金）に毎年恒例の現地集合学習が行われ、全校生徒・職員で九度山町の慈尊院を訪ねました。普段、専用の通学バスで登校する生徒たちが、公共交通を使って目的地を目指す取組で、事前に各自で交通手段や時刻、料金などを調べ、この日に臨みました。

生徒たちは自宅の最寄り駅・バス停から、電車・バス等を利用して、慈尊院に向かいます。教員も生徒が乗る電車等に同乗しますが、生徒は教員を頼ることなく自力でゴールを目指します。

途中、電車の乗り継ぎに失敗して11時の集合時刻に遅れるグループもありましたが、最終的に全員無事に目的地に到着することができました。

慈尊院は「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録される弘法大師ゆかりのお寺です。高野山周辺を女人禁制としたため、大



師を訪ねてこられた御公を慈尊院に迎え入れ、大師が月に9度、高野山を下りて慈尊院を訪れたことから、この地が「九度山」の名で呼ばれるようになりました。

本堂で慈尊院の歴史や宗派、世界遺産等について説明を受けた後、生徒たちは九度山の街の散策に出かけていきました。

この日は、日ざしの中を少し歩くだけで汗が噴き出すほどの、真夏並みの暑さとなりましたが、真田ミュージアムやパンケーキのおいしいカフェを訪ねるなど、生徒は思い思いに散策を楽しんでいました。

13時30分に南海電鉄九度山駅に集合し、

全員の点呼を取った後、解散して帰路につきました。

実施後のアンケートでは、知らない街を訪れ、古い街並みに興味を覚えたり、クラスマートとの仲を深めたり、それぞれこの取組を楽しんだ様子で、もっと時間をかけて散策したかったという意見もありました。

知らない街を体感し、地域にはそれぞれ特有の魅力があることに気づくことは、自分の住む街や関わる地域の魅力を知るきっかけになります。美里分校で過ごす高校生活も、いつかここで学ぶ良さに気づいてもらいたいと考えています。

6.7 第69回 NHK杯全国高校放送コンテスト和歌山大会

6月7日（火）、和歌山県民文化会館で開催された第69回NHK杯全国高校放送コンテスト和歌山大会に本校放送部が参加。アナウンス部門で3年生の谷口僚くんが2位入賞、ラジオ・ドキュメント部門で作品名「形のないものに、形を与える」が3位入賞を果たし、全国大会への進出を決めました。また、本大会は今年度の高等学校総合文化祭近畿大会の予選を兼ねており、谷口僚くんの近畿大会出場も決定しました。



6.17 進路ガイダンス

6月17日（金）、多くの大学、短大、専門学校等の協力のもと、進路指導部主催の進路ガイダンスが開催されました。全校生徒が興味・関心のある分野に分かれ、各学校の講師から詳しい説明を受けました。学ぶ内容や学校生活、卒業後の進路、業界情報など、普段の授業では聞けない幅広い内容は、生徒にとって気づきが多く、とても有益だったようです。自分の進路やその実現に必要なことを考える良い機会になりました。

【協力校等】

帝塚山大学 近畿大学生理工学部 和歌山信愛女子短期大学 阪和鳳自動車工業専門学校 和歌山コンピュータビジネス専門学校
近畿コンピュータ電子専門学校 和歌山社会福祉専門学校 和歌山YMCA国際福祉専門学校 専門学校ESPエンタテインメント大阪
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪 錦秀会看護専門学校 大原学園 (株)さんぽう

進路ガイダンスでの様子